

令和3年度第1回加美町総合教育会議議事録

開催日時 令和3年6月16日（水曜日）
午前11時00分～正午

開催場所 加美町役場宮崎支所2階大会議室

出席者 加美町長 猪股 洋文
加美町副町長 高橋 洋
加美町教育委員会 委員 大場 幸 同 委員 鎌田 稔
同 委員 猪股 直美 同 教育長 早坂 家一

欠席者 加美町教育委員会 委員 大宮 信彦

事務局 総務課長 相澤 栄悦 教育総務課長 上野 一典
同 専門監 引地 秀彦 同 指導主事 太田 明子
同 課長補佐 伊藤 一衛
総務課長補佐 遠藤 伸一

議 題

(1) 中学校再編について

午前11時00分 開会・開議

○総務課長

只今から令和3年度 第1回 加美町総合教育会議を開会致します。開会にあたりまして、猪股町長よりごあいさつをいただきます。

○猪股町長

教育委員の皆様には加美町の未来を担う子ども達のより良い環境整備に向けて、日頃ご意見を賜り感謝申し上げます。

今日は中学校統合といった子供たち、地域にとっても大変大きな決断をくださなければなりません。

皆さん方のお考えを聞きながら最終的に町として判断させていただきますのでよろしくをお願いします。

○総務課長

それでは議題に入ります。ここからの進行については猪股町長にお願いします。

(1) 中学校再編について

○資料「中学校再編に関するこれまでの経緯」「加美町立中学校再編に関する答申」
上記資料により、教育総務課長参事兼課長補佐より答申内容の説明と住民説明会等これまでの経緯について説明。

改めて答申の内容についてご協議願いたい。

○教育総務課長

先ほど臨時教育委員会において住民説明会の経過を説明し同意をいただいた。その中で答申のとおり今後準備委員会を設置して進めていかご協議願いたい。

○猪股町長

小野田中学校の地盤の関係はいかかですか。

○教育総務課長

住民説明会で質問があった小野田中学校の地盤についてですが、建設当時の地質調査報告書があって、土盛りした地下4 m以上の地盤は岩盤で問題なく建設ができる地質であるという報告書がございます。

○教育長

先ほど教育委員会臨時会を開催しました。保護者説明会、地区住民説明会を踏まえ、色々な反対意見、指摘事項がありましたが、概ねご理解をいただいたと判断しております。ただその時に出たことは指摘された事項については、きちんと誠意をもって返すべきで、口頭でということもありますが、或いは新しい学校、統合して良かったという学校をつくることで返すことに繋がるのではないかという話もありました。

それで、教育委員会としてはこれ以上子供たちを待たせるわけにはいかない。子どもたちのために教育委員会として統合を進めていくべきだということで意思決定しました。

新しい学校をつくるときに、子供たち、保護者、教職員、地域の皆でつくっていかう、盛り上げていかうという話もできました。その時に今の学校の改修もさることながら、校地内の全体を見て新たな活用も考えてはどうかという話もできました。それに伴い多少経費が掛かるかもしれませんが、町の財政も見据えながら協議をしていかなければならないと思っております。

○猪股町長

私からですが。皆さんの結論、小野田中学校に令和5年4月に統合するという事は、町としても尊重し同意します。

ただ、何点か私から申し上げます。

1点目は、検討委員会の在り方です。私から見っていくつか問題点があります。10年前に一度統合がご破算になってますので、誰から見ても納得できるというような結論を出す必要があります。そのためには各校点数化する、明らかに点数で

小野田中学校が上回っているというような、或いは最後に結論を出すときも、私はやはり決をとるべきだったと思います。そういった客観性が大事だった。客観性が乏しかったことが検討委員会の不信感に繋がったと思います。

もう一つ、洪水浸水エリアという検討委員会に必要なデータが示されています。答申を見ますと地震洪水自然災害に対しては両校とも問題ないとなっておりますので結論に影響はしなかったと思いますが、全く必要なデータでした。浸水区域と宮崎中学校の落差は大きいわけですから、そこが浸水しても宮崎中学校には何ら影響がありませんので、そのような誤解を生むようなデータを示したというのは反省すべき点だと思います。今後統合問題は出てくるわけですが、やはり客観性を持たせなければなりません。誰がみても仕方がないなと思えるような客観性をもたした、裏付けをもった結論の出し方が必要だったと思います。

もう一つはプロセスです。保護者説明会にオブザーバーとして観客席側に座って聞いておりましたが、質問に対して、ほとんど「出来ません」という回答でした。宮崎地区学校が無くなる側の地区に対して寄り添うという思いが大事だと思います。そこで一番残念だったのは、PTAの会長さん、この方は統合には賛成の方です。その方がPTAを代表して是非保護者アンケートを取ってほしいということをおっしゃいましたが、これもその場で却下されました。もっと保護者に特に宮崎地区の保護者に寄り添って進めるべきだった。そういう説明会を繰り返しますと後は皆さん意見を言わなくなります。どうせ言っても何も聞いてもらえない。町づくりの基本理念は共生・共同自治です。共同という考え方は共につくっていく考え方です。それが基本ですからプロセスというのは非常に大事です。そこが少し欠けていたのかなと思います。今後そういったところも気を付けていただきたい。

また建物のことですが、昨日出た質問で初めて書類を調べるということでは遅いんです。検討委員会から答申がでたらその時点で教育委員会として建物も含め様々な面で検証するということをしなければなりません。質問が出ようが出まいが大事なことだと思います。そういった点も欠けていたと思います。今日両校を見てきまして、一長一短ありますが、どちらの学校にしてもかなりの改修は必要だと思います。それから今後の学習の在り方を見たときには、やはり周辺の環境も含めまして小野田中学校の方が有利だろうという印象をもってきました。

それから、新しい教育課程・編成ですが、今日小野田中学校の音楽室に行ったら、私が中学生の頃と全く同じでした。やはり教育の在り方というのは教科横断型、探求型の学習にしなければならないと思っております。例えばバッハとモーツァルトとベートーベンは全然時代が違います。音楽は時代を反映させてます。音楽は音楽、歴史は歴史で学ぶのではなくて、統合して学ぶことによって子供たちは音楽にも歴史にも興味をもってくる。生きた知識になってくるのだと思います。残念ながら教科ごとに細切れに学んでいるという状況ではないかと思えます。理科室も見てきましたは、これも保健体育と一つにしていく。教科の壁を取り払

った学習というものが重要だと思います。生きた知識、子供たちが生活するうえでどのような関りがあるのか、自分たちが社会でどのような関りがあるのか、そのためにこの知識がどう生かされているのか。小野田中学校には幸い視聴覚ルームという大人数が入る施設がある。子ども達が学んだことをプレゼンテーションするということも進めてほしい。

以上、大きく分けてこの3点です。

○鎌田委員

小野田中学校も宮崎中学校も立派な校舎だ。すばらしい環境で優秀な教員を集めるということで、実際加美町では雪が多いということで希望しない教員がいるということは事実なので、教員が加美町で勤めたいというようなことを考えていかなければならない。

○早坂教育長

統合中学校は、新しくできた学校で学びたいと思うような学校をつくらなければならないと思っている。今までの学校の延長でなく、学んだことを使えるものにするというものにしなければならない。そういう意味ではこれに関わる教職員はやりがいがあるのではと思う。

○鎌田委員

加美町に来たいという教職員が増えればいいです。

○早坂教育長

加美町で勤務して、仕事以外の時間を加美町で生活して、自分の子供を加美町で育てたいという、働きながら住みたいというようなものになればと思っている。

○猪股町長

他にありませんか。

○大場委員

その他で言うことですが、中新田高校の魅力化ですが自分なりに思っていることがあるのですが、中新田高校を中高一貫ですが、中高一貫には3種類ありますが、その一つが中等教育をつくることと、併設型と連携型があります。中新田高校は連携型で中新田中学校と統合中学校、連携したもの、大事なことは中学校と高校が交流して教員も生徒も交流して、中新田高校は7割は加美町の子供が入ってますので、やはり中学校時代から中新田高校の魅力を知って、中新田高校が他の地域から入りたいということで活性化して、一番大事なものは職員の交流で、高校の先生が中学校で教えるとか、中学校の先生が高校で教壇に立ってみるとか、そういったことをしてみるとか、参考になる学校が長崎県に大崎高校です。離島にある学校ですが、昨年選抜で甲子園に出てきた学校です。そこの市長さんが全国に花火をあげるためにはスポーツだということで、その学校に有名な監督を連れてきて、島なのでやはり連携しまして、大崎という中学校と大崎高校を連携校にして中高一貫の交流して、地域の人が寮とか管理して他から来た子供たちの面

倒をみている。地域の方々が他からくる子供たちの面倒をみている。中新田高校が、中新田中学校、統合中学校と連携校として交流をする高校というのが良いのではと思っています。

○猪股町長

現在の中新田高校は中新田中学校からの生徒が減っております。まさに今大場委員からの提言ですが、そういったことも含めて、中高連携は大事だと思いますので、連携型の中高一貫も考えていかなければならないと思います。

今の予定で県教委で7月中に全国募集をするかどうか結論がでますので、時期が5年4月からですが、これに向けて町としては寮・寄宿舎の整備をする予定で母子福祉センターを改修して寮にしようと思っています。それからスポーツが大事ですので、中高はカヌーが強いですから、カヌーで全国から来るような体制を整えて、JETプログラムですがALTのほかに国際スポーツ交流員があるので、スポーツ交流員として招聘することが可能ですので、是非、来年度カヌーのコーチを招聘したいと考えている。大場委員のご提案、実現できるよう中新田高校にも伝えたいと思います。

○大場委員

進路を担保しないといけない。中新田高校からでも有名な大学に入れるんだという、そういう道を作らなければならない。

中学校時代から高校の勉強をしたり、体験することによって、他所にいかなくても、この地元の高校でも出来るというよな、進路の担保をしなければならない。

○猪股委員

魅力あるまちづくり、一番大事なのは子供の学ぶ環境づくりであって、そこに住む人たちが居なければ子供も育たないし、加美町に人がくる、移住者が5年間で226人移住したということを知って、もっと旭でも頑張ろうかなという意欲が益々わいてきました。

○鎌田委員

教育は人なりでして、中新田高校の人気があがるかどうかの鍵を握っているのは、子供たちと保護者です。子どもや保護者は、どう思っているかは色々なところで発信しています。例えばマイナス面を聞くと行かなくなる。私立に子どもが流れれば中高よりプラスのものがある。公立も私立も危機意識を持たないと、子供たちや保護者のために貢献するんだという意識がもっともっと高まれば、間違いなく増えると思います。そういうような部分も含めて魅力化を出していけば定員割れはしないのかなと思います。

○猪股町長

情報の発信の仕方については中新田高校も認識してまして、良いものをしていても中々発信ができていないということも認識はしているようです。

○教育総務課長

最後ですが、教育委員会、総合教育会議で同意をいただきまして、議会全員協議会において説明しまして、その後統合準備委員会を設置しまして進めることとなります。

○猪股町長

他にありませんか。

<なし>

○総務課長

閉会にあたりまして、早坂教育長よりあいさつをいただきます。

○教育長

お陰様で小野田中学校・宮崎中学校の統合を進めていくことになりました。

統合して良かったと言われるような素晴らしい学校を、子どもたち、教職員、保護者、地域の皆さんの声、力を集めて作ってまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

本日はありがとうございました。

○総務課長

以上を持ちまして、令和3年度第1回加美町総合教育会議を閉会します。

お疲れ様でした。